

ウェルネス ノルディック リラックスチェア

実例

株式会社プロアシスト
2019年吉日



Ver1.0

・設置場所について

広さ:200cm × 150cm

アームレスト付キャリーもセットでご利用いただいた場合です。

(アームレスト&チェアサイズ:高さ125cm × 幅95cm × 奥行190cm)

・その他

電源タップ(電源コードは2mです、必要に応じてご用意ください。)

・使い方

プロアシストの担当者がご説明し、取扱い説明書もお渡しいたします。

・注意事項

乗降は必ずチェアが止まってから！

高齢者は、介護者の目の届くところで利用してください。

Clinical documentation/evidence – Relax chair

Report 報告	Subject and method 主題/方法	ユーザー分類/ 調査対象	Conclusions 結果
オーデンセ大学病院 (OUH) 時期: 2016年 報告者: ICUスタッフ	ICUにおいてWNGが使用可能かどうかを調査。 47名の患者に1日20分間試用。	脳機能障害、痛み、興奮、譫妄に苦しむ重篤患者	結果としてWNGはICUにおいて安全に使用可能。 興奮を抑え、(知覚反応を伴う)意識の向上、痛みや譫妄を軽減。 WNGに関する更なる調査は必要。
老人精神医学者 Vordingborg ボアディング 2015年5月6日	WNGの使用後、ユーザーの症状が軽減されるかを調べることを目的とする。 対象者4名、ハミルトンうつ病尺度による判定、3週間の試験期間中、週2回各20分間使用。	老人性精神疾患による双極性障害および鬱病患者 NPIの基準による興奮、恐怖心、苛立ち、運動障害、激情、不眠	精神的症状の緩和、運動障害の軽減、不眠の改善。 集中力の上昇、社会的適格性の向上。 治療の即効性向上。
Rødovre レズオウア 2017年	VTV(Wellness Nordic社からの案)を用い、介護施設の8名を対象、具体的な使用時間などを決めずに日常的な使用を基準とする。	認知症および落ち着かない行動を取る8名 製品の使用によるスタッフの介護従事時間の減少度合を検証	グループの大半がより快適、平穏になったと感じており、対象者1人当たり週におよそ2~3時間は介護時間が減少。Rødovreの全介護施設で恒常的に使用すべき。

WNG: Wellness Nordic Gyngestolen = Wellness Nordic Relax Chair

NPI: Neuropsychiatric Inventory 【認知症の行動・心理症状の評価尺度のひとつ】

VTV: Velfærds Teknologi Vurdering 【デンマークでもっともよく使われているウェルフェアテクノロジー評価のためのツールで、4つのカテゴリー(組織、テクノロジー、経済、利用者)と各カテゴリーに属する2つの指標(組織:スタッフ・リーダー、テクノロジー:機能・ユーザーフレンドリー、経済:投資・維持運営、利用者:使いやすさ・価値)から構成されている】

特別養護老人ホーム 20名の方に1ヶ月ご利用いただいた例


ご利用前
食事量にムラがあり、不安そうに何かを訴える




ご利用後
お食事の拒否はなく、不安そうに何かを訴える様子はなく、穏やかに過ごされる



ご利用前
怒りっぽく、他者とのトラブルあり




ご利用後
突然立腹されたり、暴言を吐かれることが少なくなった




介護施設 13名の方に1ヶ月ご利用いただいた例

ご利用前
イライラされてずっとしゃべっている



ご利用後
朝、リラックステア利用していただくこととコーヒーを飲みながら新聞を読み、午前中落ち着いて過ごされる



ご利用前
荷物をまとめ「家に帰る！」とウロウロされている



ご利用後
リラックステアを利用していただくことと「家に帰る」ことをすっかり忘れ落ち着かれる



◆日本での導入施設と利用例

A、介護付き有料老人ホーム

評価：マストアイテムである

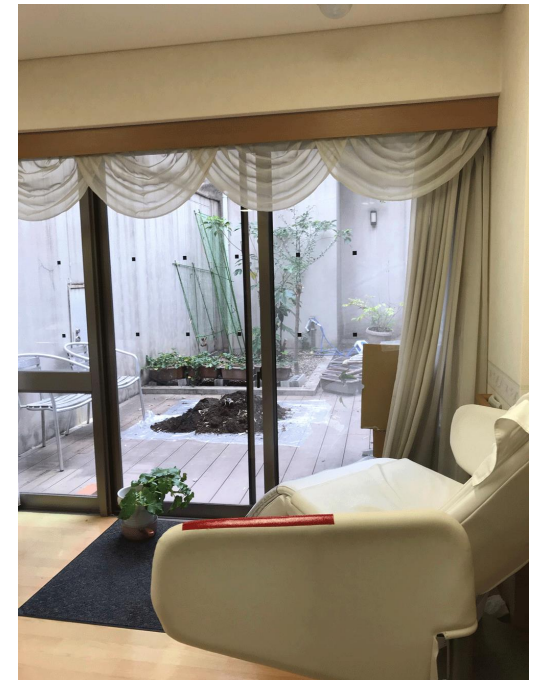
設置場所：リハビリルーム（理学療法士常駐）

利用者：認知症に限らず入所者すべてに開放している。

リハビリの一環として利用する他、進んで乗りに来られる方が毎日10名程度。

落ち着かない方をチェアに誘導、ゆったりと眠って過ごされる間、作業時間を確保できるなど、スタッフの負担軽減にも繋がった。
また帰宅願望のある入居者が落ち着いてくれる。

リハビリルームの一角、中庭が見える位置に壁を背にして設置。
アームレストは手すりとして利用、わかりやすく赤いテープを貼っている。



B、介護付き有料老人ホーム

設置場所：オープンスペース

利用者：認知症の症状がみられる方で眠れない方（一人）

効果：眠っても1時間程度で起きてしまう方が、
チェアを使うと平均5時間は続けて眠られる。
本人は乗ったことも覚えていないが、職員もご家族も
安堵している。また夜間担当者の負担が大幅に軽減
された。

C、特別養護老人ホーム

設置場所：個室に設置

利用者：認知症の症状がみられる方

効果：不安を訴える方、怒りっぽい方が穏やかになる等
効果が見られたが、個室なので必ず誰かが一緒に
いなければならないのが難点。

D、デイサービス

筋トレ後にリラックスしてもらうために導入

設置場所：オープンスペース、他の機器と一緒に配置

利用者：高齢者（自立した生活を目指す）

毎日約10名の方が20分乗られる。

感想：「気持ちよくなって眠っている、終わった後はスッキリします。」

「はじめは船酔いみたいで気持ち悪く、音楽もうるさく感じたが、いつのまにか眠ってしまい、目覚めた後は疲れが取れる。」

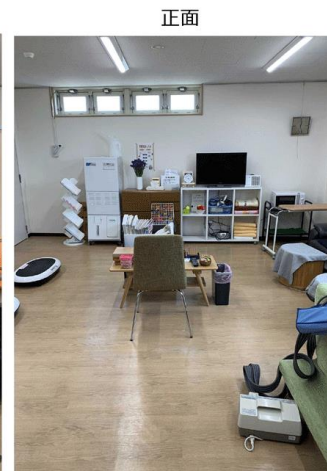


眠られる方が多いので
衝立を用意



他の器具も20分の
コースが多いので
順番に効率よく利用。

リラックス専用ルーム



**本日はありがとうございました。
今後ともよろしくお願いいたします。**